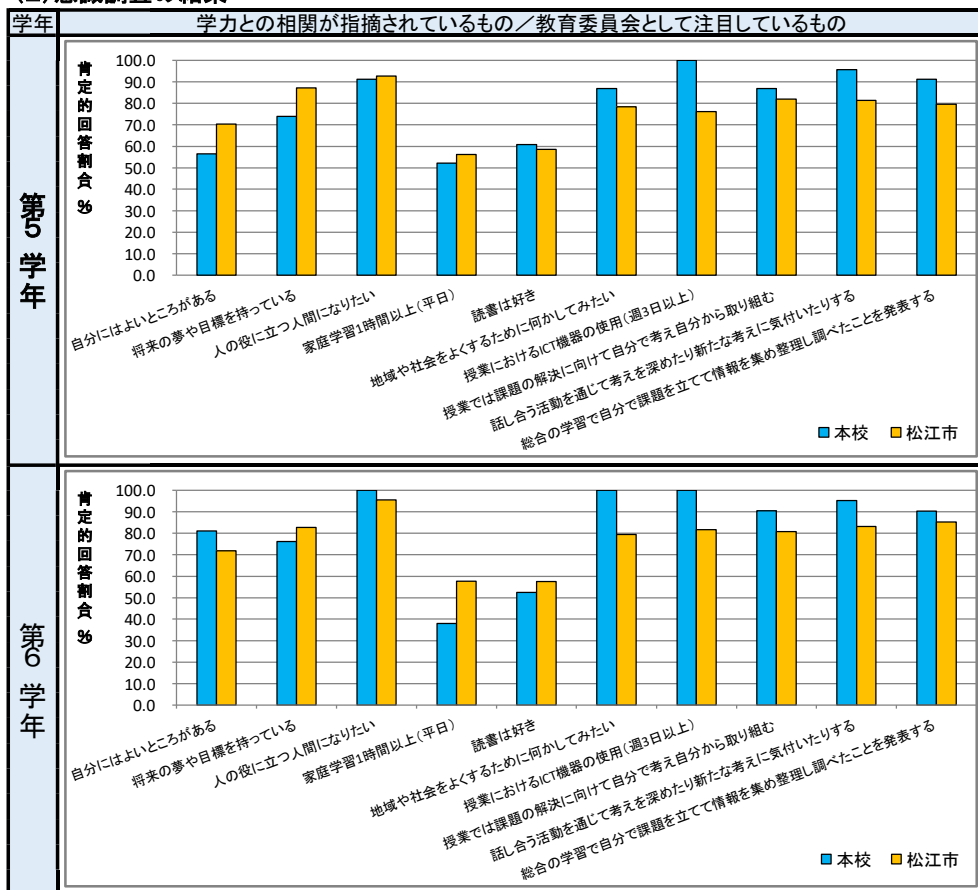


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(・)
第5学年	国語	成果 ○物語文における登場人物の人物像や行動の理由について、叙述をもとに読み取ることができている。 ○漢字の由来や対義語について、基礎的な理解はできている。	・「自分は思ったのか(感じたのか)」を表現する経験をこれまで通り積み重ねるとともに、ペア対話などで相手の話を聞いた上で自分がどう考えたのかを伝えるようにするなど、対話の形式を工夫する。 ・説明文の読み取りや「話す・聞く」の内容に課題があることから、図書や百科事典、新聞記事など、さまざまな文章を読む機会を設定する。
		課題 ●インタビュー動画で聞き取ったことをもとに、「印象に残ったこと」などの指定された条件に合わせて文章を書くことに課題がある。 ●指定された箇所の意見文の根拠を探す際に、複数ある資料(グラフ)の読み取りについて課題がある。	
第5学年	算数	成果 ○単位量あたりの大きさや平均などにおいて、基本的な考え方や計算をすることができている。 ○提示された計算式を使って問題を解くことができている。	・学習した時期に近い内容は解くことができていたことから、1学期や前学年の内容などをタブレットドリルで問題を配信して定着を目指す。 ・複数の立式が必要な問題を単元の終末などで取り組む。
		課題 ●L字型の立体の体積を求める際に、計算に必要な辺の長さを求めることや筋道を立てて複数の計算式を立式することに課題がある。 ●小数倍を使って表している線分図と、2つの数量の関係について文章を関係づけて考えることに課題がある。	
第6学年	国語	成果 ○文章に書かれていることを手掛かりにして、物語文の登場人物の心情や行動の理由、説明文の全体の構成について読み取ることができている。 ○委員会のパンフレット作成問題の正答率が高いことから、自己の学校生活と関連付けて考えることができている。	・文章を読んだり動画を視聴したりした際に「自分は思ったのか(感じたのか)」を表現する機会を意識して設定する。 ・自己の経験から話す内容や文章を組み立てることはできているので、多様な表現方法を知るために、図書や百科事典、新聞記事などさまざまな文章を読む機会を設定する。
		課題 ●話し合いの動画で聞き取ったことをもとに、相手がどのような意図で考えを伝えようとしているのかを想像することや、自分は思ったのか文章に表すことに課題がある。	
第6学年	算数	成果 ○基礎的な分数のかけ算とわり算の計算をすることができている。 ○複数ある資料をもとに、度数分布表を完成させたり、設定された値について他のデータとの関係を考えていることができる。	○タブレットドリルを活用して、基礎的な計算の力が付いていることから、関係を読み取り立式する問題を意図的に出題する。 ○図形の感覚を養うために折り紙などの具体物も活用する。
		課題 ●文章から二者の関係を読み取り、立式することに課題がある。 ●動画を視聴して円を含む複雑な形の面積を求める式を組み立てることに課題がある。	

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞

成果○:強み/伸ばしたい点 について
課題●:弱み/改善を要する点 について

【第5学年】

○児童が日常的にICT機器を使用している。家庭学習の習慣と関連付けられると、家庭学習の習慣の定着につながると考えられる。
●「自分にはよいところがある」という設問での肯定的な回答が少ない。話し合う活動やICT機器の使用は活発なため、1時間及び単元での子どもの変容(努力や成長など)などを価値づけていく声かけなど工夫が必要となる。

【第6学年】

○人の役に立ちたい、地域や社会をよくするために何かしたいと前向きな気持ちがある。
●家庭学習の習慣や読書に対して課題がある。中学校への進学を控え、家庭学習や読書について振り返り、自分を見つめ直す機会を設定し、家庭学習や読書を促す働きかけをする。

【R7学力調査受検者数】

第5学年	23	名
第6学年	21	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示